

平成28年度 「こども未来会議室」 報告書

船橋市



もくじ

| | |
|---------|---|
| はじめに | 1 |
| 概要 | 1 |
| 市民団体の紹介 | 4 |
| 提案と市の回答 | 5 |

| | |
|--------------------------|----|
| 1 「たくさんの人に船橋市を知ってもらいたい！」 | 5 |
| 2 「人が集まる元気なまちにしたい！」 | 6 |
| 3 「道路環境を改善したい！」 | 8 |
| 4 「船橋市をきれいなまちにしたい！」 | 9 |
| 5 「充実したイベントを開催したい！」 | 10 |
| 6 「いろいろなことを学びたい！」 | 11 |
| 7 「公共施設を充実させたい！」 | 11 |
| 8 「放置自転車をなくしたい！」 | 12 |
| 9 「災害対策を充実したい！」 | 13 |
| 10 「子育てしやすいまちにしたい！」 | 13 |
| 11 「交通の便を良くしたい！」 | 13 |
| 12 「利用しやすい公園にしたい！」 | 14 |
| 13 「ながら歩きでの事故を減らしたい！」 | 15 |

| | |
|---------------|----|
| Check it out! | 15 |
|---------------|----|

はじめに



平成 28年度「こども未来会議室」は、今年度で3回目を迎えました。市内の中学2年生を対象として、夏休み期間中、全4回にわたり、日頃から本市のまちづくりに深く関わっている市民団体と連携して「こども未来会議室」を開催することができました。

代表として参加してくれた皆さんからは、中学生らしいものから大人顔負けのものまで様々な提案をいただきました。

私は、この「こども未来会議室」を通して、将来を背負って立つ皆さんが、船橋のことを真剣に考えて話し合いをしてくれたことこそ、市のまちづくりにおいて何より貴重な財産になると確信していますし、だからこそ皆さんからの提案を大切にしていきたいと思っています。

皆さんからいただいた素晴らしい提案に対して、市としてどのようなことが実現できるのか、関係部局と協議を重ねてこの報告書を作成しましたので、中学生の皆さん、そしてお父さん、お母さんにもぜひ読んでいただければ幸いです。

中学生の皆さん素晴らしい提案をありがとう！

船橋市長 松戸 徹

概要

1 名称

「こども未来会議室 ～船橋の未来に“たね”をまこう～」

2 目的・運営

子供たちと市長が船橋の将来を語り合う場「こども未来会議室」を開催しました。これは、船橋市の現状を子供たちに伝え、まちづくりを意識してもらうとともに、将来を見据えた意見交換を行い、市政運営に子供たちの視点を活かしていくことを目的として開催したものです。市若手職員と市内の関係団体（さざんか募金運動推進協議会、船橋商工会議所青年部、船橋法人会青年部会、船橋青年会議所）による「こども未来会議室プロジェクトチーム」を立ち上げ、企画・運営をしました。

3 対象及び人数

対象：市内28中学校の2年生（市立27校、私立1校）

人数：各校2名

4 事前授業

中学校の授業では、「こども未来会議室」に参加する準備としてすべての参加校で「事前授業」が行われました。

この「事前授業」では、同会議室のテーマ【「私たちが市長になった



芝山中学校の事前授業の様子

ら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】について話し合いが行われました。

全員が参加することによって、色々な意見がでましたし、また、一人ひとりが船橋市民であることを自覚して、地域の発展にかかわる意欲を持ってもらうことができたと思います。

この「事前授業」でまとめられた提案は、「こども未来会議室」に参加する代表生徒に託され、市長にどのようにプレゼンテーションするか検討がされました。

5 実施内容

・第1部 テーマに沿った意見発表 【第1会議室】

【「私たちが市長になったら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】というテーマについて、各学校で話し合った結果を代表生徒から直接市長に向けて発表がありました。それぞれの学校では、発表に工夫をこらし、プロジェクターを使用したり、分かりやすい資料をホワイトボードに貼ったりして、緊張しながらも、笑顔いっぱい元気な発表してくれました。

「船橋の特産品をお菓子にして、PRしたい」や「なしフェスティバルを開催したい」といった市の特産品に関する提案が多々ありました。また、「狭い道路や、暗い道路があるため改善したい」といった提案が今年も多く聞かれました。「ながら歩き防止条例を制定する」という踏み込んだ意見も聞かれ、さまざまな提案が市長に伝えられました。発表後は各学校から出た提案を振り返り、市民団体の方々と交えて「まちづくり」について活発な意見交換を行いました。

市長は提案の一つひとつに対し、市の現状と今後の取り組みなどを丁寧に伝え、「皆さんが提案してくれたことについては、全部市でできるか、できないかを検討して、可能な限りやれるものはやっいていこうと思う。」と述べました。

生徒の皆さんが発表した提案と市の回答については、5ページ以降に記載しています。

・第2部 市長室見学ツアー 【市長室】

最初に市長から各中学校の代表生徒の皆さんへ、市長室全体の案内と市長室でどのような仕事を行っているか、また、市のさまざまなことを決定する「決裁」に関する説明などがありました。

その後、一人ずつ順番に市長の椅子に座り、市長や「目利き番頭 船えもん」と一緒に記念写真を撮影しました。

代表生徒の皆さんは、市長の説明に熱心に耳を傾け、市職員でも滅多に入ることが出来ない市長室に興味津々の様子でした。



旭中学校の事前授業の様子



金杉台中学校の事前授業の様子



市政紹介の様子



趣向を凝らした意見発表



市長室見学ツアーの様子

6 開催日時及びブロック割

平成28年度は、他地域の生徒と意見交換ができるよう、地域を混合し4回開催として実施しました。

開催時間13:30~16:30

場所：市役所9階 第1会議室

| 開催日 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 |
|-------------|----------|----------|---------|----------------|
| | 7月26日(火) | 7月28日(木) | 8月1日(月) | 8月3日(水) |
| 参加校 各校2名 | 船橋中 | 湊中 | 海神中 | 宮本中 |
| | 若松中 | 葛飾中 | 行田中 | 旭中 |
| | 二宮中 | 法田中 | 飯山満中 | 高根中 |
| | 七林中 | 御滝中 | 三田中 | 八木が谷中 |
| | 三山中 | 芝山中 | 古和釜中 | 金杉台中 |
| | 高根台中 | 習志野台中 | 大六中 | 前原中 |
| | 坪井中 | 豊富中 | 小室中 | (私) 千葉日大第一中 |
| 学校数：28校 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 生徒数：56名 | 14 | 14 | 14 | 14 |



第1回開催 集合写真



第2回開催 集合写真



第3回開催 集合写真



第4回開催 集合写真

市民団体の紹介

企画・運営から携わっていただいた市民団体を紹介します！

(1) さざんか募金運動推進協議会

さざんか募金運動推進協議会は、各種チャリティー事業を展開したり、「育てよう美しい心」をテーマに、青少年の健全育成を推進する公益信託制度「コミュニティ・ファンド（地域基金）＝さざんかさっちゃん教育基金」の事業も行っています。船橋駅コンコースのJR線と東武アーバンパークラインの間にシンボル像「さっちゃん像」があり、皆さんの「待ち合わせスポット」として、活用されています。ちなみに、この像は募金箱でもあります。



船橋市民のシンボル
「さざんかさっちゃん」

(2) 船橋商工会議所 青年部

船橋商工会議所青年部は、次世代の地域経済を担う後継者の相互研鑽（けんさん）の場として、また、青年経済人として資質向上と会員相互の交流を通じ、己（おのれ）の企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。

活動の中心は、あくまでも地域経済をリードする若き企業経営者の勉強の場であり、綱領・指針に則り、企業の発展と同時に、地域経済の発展を図る商工会議所活動の一翼を担うという理念のもとに活動しています。



(3) 船橋法人会 青年部会

会社を経営するには切っても切り離せないのが納税（税金）です。法人会というのは、全国に100万社の会員企業があり、「税」をキーワードに健全な会社経営、経営者育成を目指し、研修会や専門的勉強会、親睦会など各所管税務署や関係諸団体の協力を得て、様々な事業やイベントを開催しています。

その中でも、青年部会は50歳までの経営者や次世代の企業経営者になる若者に更なるステップアップや仲間を増やし、友情を育むことを目的に掲げて地域の発展と企業の繁栄を目指し、活動している団体です。



(4) 船橋青年会議所

青年会議所とは20歳から40歳までの青年が、明るい豊かな社会の実現を理想とし「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。世界125か国17万人を超える会員がいる国際的な組織でもあり、日本では全国47都道府県の697地域に、約36,000人の会員がいます。卒業したOBは世界で250万人以上、元アメリカ大統領のビル・クリントン氏やマイクロソフト創業者のビル・ゲイツ氏なども所属していました。日本では元内閣総理大臣の小泉純一郎氏なども所属していました。

また、小泉純一郎氏の息子の小泉進次郎氏なども現役で活動しています。

船橋青年会議所では次代の社会の担い手、推進力として明るい豊かなまちづくりの実現のために、市民運動の先頭に立って活動しています。



提案と市の回答

1. たくさんの人に船橋市を知ってもらいたい!

「船橋の特産品をお菓子にして、特産品をPRします」という提案がありました。

船橋市では、船橋の特産品である梨を使った「梨の里」やにんじん、小松菜を使った「まるごと船橋アイス」などを船橋ならではの優れた産品である「ふなばし産品ブランド」として認証し、百貨店や様々なイベントで販売することで特産品のPRにつなげています。

また、船橋ふるさと応援寄付金の特典として、市内企業の協力により特別に、梨、にんじんを使った「ふなっしーゼリー」、「船えもんゼリー」を製造し、全国に船橋の特産品をPRしています。

皆さんの意見の中にもあった「特産品をお菓子などに加工する」というのは、可能性がどんどん広がっていくので、今、生産者の人たちともいろいろやりとりをしています。もっとやっていきたいと思えます。

これからも、船橋の特産品を使った船橋ならではの優れた産品を掘り起こして、広報紙、ホームページ、イベント等でPRすることで、特産品のPRにもつなげていきます。



ふなばし産品ブランド
に認証された特産品

「大規模なイベントを開催するなど、知名度をあげることで船橋の魅力をPRします」という提案がありました。

船橋市では、毎年、約65万人があつまる「ふなばし市民まつり」の他にも約8万3千人が集まる「船橋港親水公園花火大会」、船橋駅周辺が音楽に包まれる「ふなばしミュージックストリート」、2千人を超える奏者が船橋アリーナに集う「千人の音楽祭」など、船橋ならではの魅力に溢れた大きなイベントを開催しています。

また、船橋の特産物に関して言えば、船橋大神宮を会場に「ふなばし朝市」、地方卸売市場を会場とする「農水産祭」や「ふなばし楽市」などを開催し、多くの人で賑わっています。



ふなばし市民まつりの様子

中学生の皆さんからの提案を受けて、より多くの方々に船橋のイベントを知ってもらうために、「ふなばし市民まつり」、「船橋港親水公園花火大会」のポスターを新たに小学校や中学校に配布、掲示することにしました。

これを機会に、まだ行ったことがないという方も、ぜひ、こうしたイベントに足を運んでいただいて、感想や良かった点・悪かった点を聞かせてください。

「市民に船橋の魅力を知らせ、全国に船橋をPRします」という提案がありました。

船橋の魅力をPRするにあたり、一番大事なことを提案してくれてありがとうございます。まずは、市民に対するPRを徹底的にやらなければいけないと思っています。

今回のこども未来会議室でも「友達が市民まつりのことをあまりよく知らない」という意見がありましたが、船橋に住んでいる皆さんが自分の住んでいるまちのことを知ることでより愛着を持ち、市民の

皆さんからも友人や知人に船橋の魅力を伝えてもらうことができるのです。今、船橋市は市民に対するPR、さらには全国、世界に向けたPRを広報ふなばし、ホームページ、SNS、デジタルサイネージなどさまざまな媒体を活用して行っています。また、船橋市では、「魅力発信サイト『FUNABASHI Style』』という特設サイトを設けて、「見る」「遊ぶ」「食べる」などをテーマに、たくさんの船橋の魅力を発信していますので、検索サイトからぜひご覧ください。

他にも、フリーペーパー「まっぴる船橋」を制作しています。

これは、旅行雑誌会社のブランド力や取材力を活用して、市内の観光スポットや商店街などを紹介しています。「まっぴる船橋」は、船橋駅前のインフォメーションセンターをはじめ、市外でも配布をしていますので、ぜひ手にとってご覧ください。

最後に、船橋市では、地元“FUNABASHI”の魅力をコンパクトにまとめた「外国語版リーフレット」（16言語）を作成しています。美しい三番瀬の海、豊かな農産物や海産物、日本最大級のショッピングモール、四季を彩るイベント・伝統行事などを、豊富な写真とともに紹介しています。日本語も併記していますので、皆さんも“市民観光大使”の一員となって海外旅行に行った際や外国の友人を迎える際に、地元船橋を紹介する名刺代わりとしてこのリーフレットを活用してみてください。

これからも、市民をはじめとして全国、世界に向けて船橋の魅力をPRしていきます！



魅力発信サイト「FUNABASHI Style」



「まっぴる船橋」の表紙



観光スポットなどを紹介した「外国語版リーフレット」

2. 人が集まる元気なまちにしたい！

「船橋ゆかりの地を巡るスタンプラリーを行います」という提案がありました。

平成28年8月に市内の9路線35駅の鉄道網を活用したスタンプラリーを行いました。スタンプラリーでは、船橋の魅力をもっと知ってもらうために駅周辺の観光スポット等も紹介しました。また、参加者には景品として船えもんグッズや船橋ならではの優れた産品「ふなばし産品ブランド」の冊子を配布して特産品のPRを行いました。平成29年度には市内11軒の銭湯を活用した新たなスタンプラリーを実施する予定で、11軒の銭湯では各々別の日に様々なイベント（落語、漫才、マジック等）を開催し、多くの方に船橋の魅力をPRすると同時に、市内の様々な場所を回ってもらい賑わいの場をつくっていきたいと思います。



スタンプラリーのポスター

「市内観光地をめぐるバスツアーを企画します」という提案がありました。

現在、市内の方だけでなく市外の方や外国の方を対象に、船橋大神宮、元南極観測船しらせ、サッポロビール工場、船橋市場、船橋競馬場、銭湯、玉川旅館等の観光スポットを組み込んだモニターツアーを行い、観光客を誘致するための観光ツアーコースの作成に取り組んでいます。

平成29年度からバス等での観光ツアーを年間12回程度実施したいと考えているので、開催した際は、皆様のご参加をお待ちしています。



モニターツアーの様子

「なしフェスティバルを開催します」という提案がありました。

船橋の梨をアピールするために、ららぽーとや東京、北海道などで様々なイベントを催しています。

また、船橋市農水産祭実行委員会「なし部会」では、梨の品評会や試食・イベント・配布等を行っています。皆さんからの提案を受けて、「なしフェスティバル」を平成29年8月下旬に開催する予定です。「なしフェスティバル」では、子供記者に審査員になってもらったり、梨風味のスポーツドリンク「アスリートウォーター」を開発した市立船橋高等学校の生徒と連携したりするなどして、今以上に船橋産の梨をPRしていきます。



「なし味自慢コンテスト」の様子

「船橋市の特産物をより多くの人に知ってもらうために、観光地や大きな公園の近くに道の駅を作ります」という提案がありました。

実は、道の駅を作るには、様々な条件をクリアしなければならないため、設置が難しいのですが、それに代わるもののひとつとして、平成29年4月1日にオープンする北部清掃工場から発生する余熱を利用した温浴施設「ふなばしメグスパ」内に「産地コーナー」を設けて市内の特産品などをPRする場として活用したいと考えています。

「産地コーナー」では、周辺の農家の方が育てた新鮮野菜や船橋市の特産品やふなばし産品ブランドの認証品等を販売し、より多くの人に市の特産品を知ってもらいたいと思っています。

また、最近、民間の出版会社より公式ガイドブックが発行された「アンデルセン公園」では、船橋の産品ブランドである「ふなばしセレクション」認証品を、園内の売店で販売するほか、地元野菜の即売イベントも行っています。

「ふなばしメグスパ」は、「アンデルセン公園」から車で約5分と、市内観光の合間のちょっとした休憩にも利用できるため、皆さんもぜひ足を運んでみてください。



新たにオープンする
「ふなばしメグスパ」

3. 道路環境を改善したい！

「道路を広げ歩道をつくります」という提案がありました。

道路に関しては、毎年たくさんの生徒から提案をいただきます。それだけ皆さんの関心が強いことの表れだと思います。船橋市の道路は確かに狭いところが多いのですが、大きな理由としては、『第2次世界大戦時にほとんど爆弾を落とされなかったために、昔のままの道が残ってその周りに家がたくさん建ち並び、道路がなかなか直せなくなってしまったこと。』、それと『毎年2万人ずつ人口が増加した昭和40年代に、学校等の施設整備が優先されたため、道路整備になかなかお金を使うことが出来なかったこと。』が挙げられます。道路を広げるためには、土地所有者の方々の協力を得て用地を取得する必要があります。土地所有者の協力を得るためには、事業の必要性などを個別に説明・交渉していきます。そのため、道路が広がるまでには、とても時間がかかりますので、危険な箇所については、少しでも安全が確保できるよう道路を整備していきます。時間のかかる道路の拡幅にかわって、車のすれ違いが出来ない道路については、地域の方々全員の合意を得るのが非常に大変ですが、一方通行化を進めていきます。さらに、生活道路における歩行者等の安全対策として、指定区域内での走行を時速30キロメートルに制限する「ゾーン30」の整備を進めています。



習志野台地区の「ゾーン30」

また、ゾーン30内にハンプ※1や狭さく※2の導入を計画していて、更なる安全対策を進めていきます。

※1.ハンプ・・・車道路面に設けた凸部。

※2.狭さく・・・車道幅を物理的または視覚的に狭くすることにより低速走行を促すもの。

昨年度同様、「道路が暗いので明るくします！」という提案がありました。

皆さんからの提案を受けて、平成27年度に「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定して通学路を中心に暗く危険と思われる箇所を抽出しました。現在、調査結果を基に道路街路灯等の設置を進めています。また、地域の防犯灯については、近所の状況をよく知っている町会・自治会の方々が設置や維持管理に取り組んでいます。市では補助金制度を設けてその活動を支援しているので、近所で暗い場所がありましたら町会・自治会の方に相談してみてください。



新たに設置された道路街路灯

「子供が安全に通学できるようにします」という提案がありました。

船橋市では、教育委員会・警察・道路管理者が定期的に集まって、児童が安全に通学できるように、通学路の安全対策について協議をしています。具体的には、信号機や横断歩道の設置、交通規制の実施や歩道のない道路の路面にグリーンなどの色を塗ったり、ドライバーなどに注意喚起する為の路面表示や看板を設置したりすることで、安全に通学できるようにしています。



色塗りされた歩道のない通学路

「市内のバリアフリー化を進め高齢者や障害者が住みやすい街にします」という提案がありました。

市内の歩道の実態調査を行い、その調査結果をもとに「船橋市人にやさしい歩道整備計画」を策定しました。この計画に基づき平成27年度から平成31年度までの5年間での完成を目標に、歩道の段差や急な傾斜をなくしたり、歩道にある排水溝のフタをなくすなど、歩行者にやさしいバリアフリー化の工事を順次進めています。中学生の皆さんも市内で気づいた箇所があったら船橋市にご連絡ください。



バリアフリー化された歩道

4. 船橋市をきれいなまちにしたい！

「東京湾の大事な宝庫、三番瀬を守ります」という提案がありました。

貴重な提案ありがとうございます。

現在、大事な三番瀬を守るための青潮被害の対策として、水流発生装置（マルチストリーマー）を船橋港内に設置し、海底の酸素量を改善することで、青潮被害の軽減を図っています。平成27年度から平成29年度にかけて実施した結果を分析し、今後の対策について検討する予定になっています。

また、生活排水対策については、パンフレットを用いたり様々なイベントでブースを出展し啓発を行っているほか、環境新聞「エコふなばし」（年1回発行）に記事を掲載し、市民の皆さんに知らせています。

他にも、環境団体や事業者の方々と市が連携し、三番瀬の保全事業“ふなばし三番瀬クリーンアップ”にて、海岸の清掃を毎年10月頃に行っていますので、皆さんもぜひ参加して三番瀬を体感してみてください。

さらに、平成29年7月にふなばし三番瀬海浜公園内に“ふなばし三番瀬環境学習館”がオープンします。

この環境学習館は、干潟に生息している生きものの生態系や私たち人間とのかかわりなども学習できるほか、船橋市全体の自然環境保全や、東京湾で問題となっている青潮などのメカニズム、地球規模の環境問題が学習できるなど、三番瀬を利用する皆さんの保全意識を高めることができる施設となっています。

オープン後もクリーンアップを含めた三番瀬を保全していく事業活動を予定していますので、みなさんもぜひ足を運んでください。



ジェット噴射で海の中をかき混ぜて青潮を軽減する「マルチストリーマー」



「ふなばし三番瀬クリーンアップ」のポスター



「ふなばし三番瀬環境学習館」のイメージ図

『ふなばし』を語呂合わせすると27日なので、毎月27日を“ふなばしの日”としてごみ拾いをします」という提案がありました。

船橋市では、毎年、5月30日に近い日曜日を『クリーン船橋530（ゴミゼロ）の日』、11月の第3日曜日を『船橋をきれいにする日』として、市内全域を対象に、道ばたなどに散乱したごみの収集活動を実施しています。

現在、「ふなばしチャレンジプロジェクト」として、ゴミの発生量や焼却灰の埋立量を減らすと共に、リサイクル率を高めるなどの取組みの一つとして、毎月7日・17日・27日は冷蔵庫の中に消費期限が切れそうな食品がないかを確認し、食品の無駄をなくす呼びかけをしたいと考えています。

また、毎月27日を“ふなばしの日”として個人または地域団体のごみ減量や資源化、ポイ捨て防止などの取組みの呼びかけを検討します。



クリーン船橋530（ゴミゼロ）
推進運動の様子

「安全でポイ捨てゼロのまちにするために、道路の縁石に、蛍光で“ポイ捨て禁止”の文字を書きます」という提案がありました。

船橋市では、現在、路上喫煙やポイ捨て禁止を呼びかける路面シートや看板などを歩道や道路に設置しています。皆さんから提案のあった道路の縁石に、蛍光で“ポイ捨て禁止”の文字を書くことについては、交通管理者（警察）や道路管理者（市道は市役所内で、県道・国道は千葉県）と協議して安全性が確認できれば、実施できる可能性があると思います。



路上喫煙防止の路面標示シート

5. 充実したイベントを開催したい！

「体験型のコンサートを開催します」という提案がありました。

ふなばしミュージックストリートでは楽器体験コーナー、地域ふれあいコンサートでは、皆さんが直接音楽に触れる機会や、リトミックやリズム体験のように一緒に参加できる企画のほか、楽器や音楽の歴史を知るレクチャーコンサートなどを実施しています。また、船橋市文化活動普及事業の中でプロとの共演や参加型コンサート、楽器体験を取り入れた授業を行いました。提案にあった、参加・体験する形式のコンサートは、皆さんが実体験として文化活動ができ、一体感や臨場感を味わいみんなで楽しめるものだと思います。今後、これらの音楽イベント等の中で、参加・体験型コンサートをはじめ、出演者・来場者含めて更に皆さんが楽しめる企画について考えていきたいと思っています。



ふなばしミュージックストリートの様子

「中高生主催のイベントを開催します」という提案がありました。

大人の力を借りずに自分たちで企画・運営をしたいというすばらしい提案だと思いますが、中高生から大人まで年代を超えて一緒に企画・運営をしていくことで、地域文化の継承や相互交流による文化振興につながることも期待できるので、対象を限定することが必ずしも効果的ではないと思います。

秋に行われている『音楽でまちを元気に！』をテーマとした【ふなばしミュージックストリート】では、ボランティアとして中学・高校生がイベントを体験することができます。実際に、第3回ふなばしミュージックストリート実行委員会には高校生も参加しており、会議、事前準備、当日のイベント運営を行いました。実行委員会は夜間に会議を行うので中学生の皆さんが委員として参加するためには難しいところもありますが、委員・ボランティア共に公募形式ですので、ぜひ参加して一緒にイベントを盛り上げましょう！※3

※3・・・今年度のこども未来会議室に参加した生徒が、第3回ふなばしミュージックストリート当日に市民ボランティアとしてイベントのお手伝いをしてくれました。



ふなばしミュージックストリートのスタッフの方々

6. いろいろなことを学びたい！

「船橋市出身者の出前授業を行います」という提案がありました。

平成27年度は、学校に社会人を招いて話を聞いたり実技を教わった小学校が28校ありました。また、平成28年度は、職場体験の他に職業人講話等の学習を計画した中学校が11校ありました。招いた社会人や職業人の中には船橋市出身者も多く含まれているので、今後も、地域とのかかわりが深い方や児童生徒が関心を持つ職業の方との交流を充実させていきたいと思っています。



中野木小学校で実施された出前授業の様子

7. 公共施設を充実させたい！

「市営のスポーツ施設を充実させます」という提案がありました。

船橋市では、多目的に運動できる施設の整備を進めていることから、一つの種目に特化したスポーツ施設を整備することは予定していませんが、誰もが自由に運動できる多目的運動広場として、平成28年度に行田運動広場、高瀬下水処理場上部運動広場（愛称：タカスポ）を整備しました。さらに、平成29年7月のオープンに向けて、運動公園プールの整備を進めていますので、オープンしたら是非遊びに来てください。



平成29年7月オープン予定の「運動公園プール」イメージ図

昨年度同様、「自習スペースをつくります」という提案がありました。

現在、東図書館に学習室（54席）、西図書館に学習コーナー（35席）、中央図書館の多目的室についても利用がない日については学習スペース（24席）として開放しています。また、皆さんからの提案を受けて、平成27年度からは夏休み期間中の14日間、子供の自習スペースとして公民館の集会室などを開放しています。利用者にアンケートをとったところ、夏休み期間中だけでなく年間を通しての自習スペースが欲しいとの声も多かったことから、今後は、公民館ロビーなどのフリースペースを活用し、年間を通して自習できる場所を提供できるように検討していきます。



自習スペースで勉強する
子供たちの様子

「体育館にエアコンを設置します」という提案がありました。

船橋市では、人口が著しく増加した昭和40年代から昭和50年代にかけて多くの小中学校の校舎や体育館が建設されました。これらの校舎や体育館は、建設後40年以上を経過し、外壁の汚れやひび割れ、雨漏りの原因となる屋上の劣化、臭いが強いトイレなど老朽化が目立ってきています。また、古い耐震基準で建てられた校舎や体育館であることから、東日本大震災や熊本地震のような大震災に備える必要があるため、老朽化の補修工事や補強工事を行って安全性を高めています。

また、児童や生徒が増加し、校舎の増築や新しい学校の建設が必要な地域も生じており、毎年、いずれかの地域で建設工事が行われています。こうした状況の中で、船橋市は全国に先がけ、皆さんが授業に集中できるように数年前に全ての普通教室及び特別教室にエアコンの設置を行ないました。

教室は一部屋ごとに壁で分けられていて、一定の冷暖房効率が得られること、省エネルギー型のエアコン機器が普及してきたことなど、決して少ない予算ではありませんでしたが設置することができました。しかし、提案の体育館のエアコン設置については、既存の体育館はエアコンを設置する前提で設計されていないことから、構造、断熱性、保温性や空間の大きさが課題となります。体育館は各学校に一つで教室の数よりはるかに少ないですが、設置費用や運転費用にたくさんのお金がかかります。また、冷暖房効果を上げるために体育館の外壁や屋根も併せて改修しなくてはなりません。

まずは、老朽化した校舎等の安全性の向上を最優先に進め、今後、体育館の建て替え等の必要が生じたときに併せてエアコンの設置を検討していきたいと思えます。

8. 放置自転車をなくしたい！

「地面に“小学生が描いた駐輪禁止ポスター”をはめ込み、違法駐輪をなくします」という提案がありました。

この提案は、放置自転車対策としてほかの市町村で実施していることを船橋市でもやってみてはどうかという提案でした。市としても、心理的に自転車放置がしにくい環境を創り出すことが見込めると考えます。これから、実現にむけて実施場所を選んだり、地域の小学校への協力依頼を含めて実施方法を検討していきます。



他市で行われている
放置自転車対策

9. 災害対策を充実したい！

「避難場所が誰でもわかるように看板を立てます」という提案がありました。

今回の提案をいただいて、皆さんの防災意識が高いことを嬉しく思います。

市では、市民の方やそれ以外の方に対して、各避難施設（小学校・中学校・公民館等）の入口付近に夜間に遠くからでもわかるように暗い場所で発光する素材の避難所看板等を設置するとともに、避難施設の周辺には、施設までの誘導看板を歩道などに設置したり、東京電力の電柱にも誘導標識を設置して周知しています。また、市民の皆さんに対して「防災ハンドブック」や「防災マップ」等を配布して、避難施設等を啓発し、防災意識の向上を図っています。

防災対策は、日頃からの備えが重要ですので、中学生の皆さんも、例えば通学の途中などで、「もし今、地震が起きたらどうすべきか。」を少しでも考えてもらえると、いざというときに役に立つと思います。



避難場所までの誘導看板

10. 子育てしやすいまちにしたい！

「保育園を増設し待機児童をなくします」という提案がありました。

船橋市では現在、『待機児童解消緊急アクションプラン』という2ヶ年の計画をつくり、保育の受入枠の拡大と、保育士の確保のための様々な事業を実施しています。

提案にあった北部地区に限らず、市全域の待機児童の問題をより早い段階で解消していくために、新たに保育園を増やすほかにも、すでにある保育園の定員の増員や、幼稚園の預かり保育の支援、保育士を目指す人を応援するための事業なども実施しています。今後も、待機児童の解消を目指して、様々な事業を推進していきたいと思います。

11. 交通の便を良くしたい！

「渋滞を減らすため、アンデルセン公園行きのバスを増便します」という提案がありました。

船橋市では、アンデルセン公園の来園者による交通渋滞を減らすため、平成28年度より公園から約2km離れた私有地を繁忙期に臨時駐車場として借り、本駐車場より、無料の送迎バスを運行する対策をとりました。また、新京成線と東葉高速線の乗り入れがある、北習志野駅からもアンデルセン公園までの路線バスが運行しています。このような対策を行ったことで、平成28年度には、公園利用者による大きな渋滞及びバスを待つ公園利用者による三咲駅の混雑はおきませんでした。アンデルセン公園が船橋市北部地域に潤いと活気をもたらす施設であり続けられるよう、地域とコミュニケーションを図りながら活動していきます。



「ふなばしアンデルセン公園」

「北部地区のバスの本数を増やします」という提案がありました。

船橋市内のバスは、民間のバス会社が運行しています。バス会社では、バス路線ごとに利用するお客様の人数やお客様が多くなる時間帯などにあわせて、バスの運行本数や運行時刻を決めています。北部地区の路線バスは、地域の足として路線を維持しているものの、利用客の多い区間ではなく現状での増便は難しいと聞いています。

市では公共交通の不便な地域を解消するため、市民の方々・バス会社・市が三者で協働してバスを運行していく仕組みをつくって、路線バスとして運行が継続できるように運行経費の50%を上限に補助金を交付しています。今後も、この仕組みに基づいて補助金を交付するとともに、他の公共交通不便地域についても、市民の方々の要望により三者で協働して取り組みを進めていきたいと思えます。



二和地区⇄馬込沢駅間を走る
路線バス

12. 利用しやすい公園にしたい！

「ボール遊びができる公園をつくります」という提案がありました。

市では皆さんからの提案を受けて、平成27年7月に「船橋市ボール遊びのできる公園検討委員会」(以下：検討委員会)を設置し、本市の現状について情報を共有したり、先進事例を紹介したり、試験的にボール遊びを実施する公園を選定したり、様々な検討を重ねてきました。平成28年3月に検討委員会の報告や提案を受け、平成28年9月から11月末まで、市内5公園(田喜野井公園・夏見台近隣公園・大穴第2号公園・西船みどり公園・本町4丁目広場公園)で曜日を指定して、ボール遊びを試験的に実施したり、船橋レクリエーション協会の協力を頂きイベントを開催し検証を行いました。平成28年度の試行期間が3カ月と短く十分な検証が出来なかったため、ボール遊びの本格実施に向けて期間、曜日、時間などを変更し引き続き試行を実施し検証したうえで皆さんに報告したいと思っています。



ボール遊びを試験的に実施した
「夏見台近隣公園」

「高齢者にも通いやすい公園にします」という提案がありました。

小室公園・北習志野近隣公園・薬円台公園・御滝公園などの近隣公園では、出入口や園路、トイレ等のバリアフリー化を実施しています。また、前原西公園・金杉台公園などの街区公園でも、既存の公園施設の改修時期に併せて、バリアフリー化を実施しています。また、その他に、高齢者をはじめ幅広い世代の方々の日常的な健康・体力づくりを目的に、健康器具の設置を進めています。今後も公園の利用者に安全で快適な公園づくりを進めていきます。



宮本台北公園の健康器具

「緑化を進めます」という提案がありました。

平成29年度に「(仮称)緑化推進委員会」を立ち上げ、^{はななえ}花苗サポーター事業の実施に向けての制度づくりやスケジュール等を協議します。^{はななえ}花苗サポーターには種を配布したり、^{はななえ}花苗づくりの講習会を開き、^{はななえ}花苗をつくってもらいます。出来た花苗は公園にある花壇や公共施設等に植えていく予定です。

平成30年度から花苗サポーターを募集する予定ですので、興味のある方はぜひ登録して、花のあふれる街にしていきたいと思います。



子どもたちの夢を育む花
「ひまわり」

1.3. ながら歩きでの事故を減らしたい！

「ながら歩き防止条例を制定し、罰則規定を設けます」という提案がありました。

ながら歩きについては自分だけでなく他人を巻き込む可能性のある危険な行為ですので、市としては交通安全のルールとして保育園・幼稚園、小学校や自治体などで行っている交通安全教室で、その危険性などの実証を交えた指導を行うことにより、ながら歩きを防止していきます。また、傘をさしながらやスマートフォンを使用しながら、イヤホン等で音楽を聞きながらの自転車の運転を禁止する、千葉県自転車条例があります。交通安全教室では、この条例についても促進していきたいと考えています。



交通安全教室の様子

また、条例で罰金をとるといことはものすごく重い行為です。なぜなら、悪用するといくらでもお金をとれてしまうからです。そういったことを皆さんも知っておいてください。

Check it out!

「こども未来会議室」に参加した行田中学校の生徒が、ボランティアに参加しました！

行田中の^{かとうおか}加藤岡あやさんと^{せきことね}関琴韻さんが、市の活性化や市民の交流が期待でき、世代を超えて皆が楽しめる“体験型コンサート”を「こども未来会議室」で市長に提案しました。

提案に対して市長から『「ふなばしミュージックストリート」という音楽イベントは、ボランティアの方々を中心に企画・運営をしています。実際に、ボランティアで参加すると、「頭の中で考えていることと実際はどうか。」が比べられますし、さらにすばらしい提案ができると思います。』と返答。

後日、^{かとうおか}加藤岡さんと^{せき}関さんは、市長に勧められたことをきっかけに子ども記者の^{なかむらあき}中村瑛さんとともに「ふなばしミュージックストリート」の当日ボランティアに参加しました！



“体験型コンサート”を披露



協力してボランティアを行いました

(※) ボランティアに参加した様子は、「広報ふなばし(平成28年11月15日号:4面の子ども記者通信)」に掲載されています。

市ホームページからぜひご覧ください！⇒http://www.city.funabashi.lg.jp/shisei/kouhou/001/01/p041233_d/fil/2016_1115.pdf



中学生の皆さん、様々な素晴らしい提案を元気よく発表してくれてありがとうございました！

皆さんの提案を受けて、たくさんの新しい発見がありました。そして、一緒に船橋の未来を語り合うことができ、とても楽しい時間でした。

皆さんからいただいた提案をもとに、船橋市が住みよいまちになるよう、全力で取り組んでいきます！

「こども未来会議室」プロジェクトチーム



平成28年度「こども未来会議室」報告書

編 集：「こども未来会議室」プロジェクト

事 務 局：船橋市役所

市長公室 市民の声を聞く課

発行年月日：平成29年3月
